

定期巡回・随時対応型訪問介護看護 第16回介護・医療連携推進会議

笑生定期巡回・随時対応型訪問介護看護ステーション



訪問看護ステーション

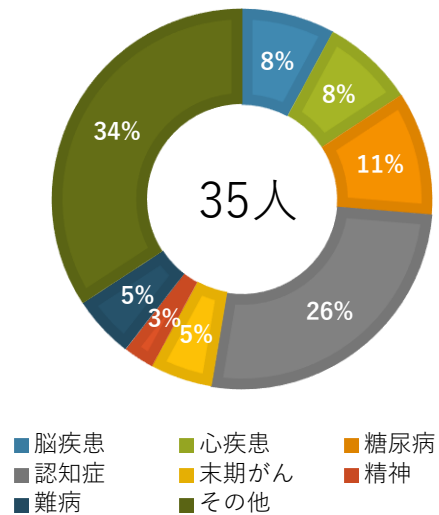
ケア24圏域

- 善福寺→5件
- 南荻窪→12件
- 上荻 →2件
- 清水 →2件
- 上井草→0件
- 西荻→6件
- 荻窪 →4件
- 久我山→0件
- 下井草→0件
- 高井戸→3件
- 堀ノ内→0件

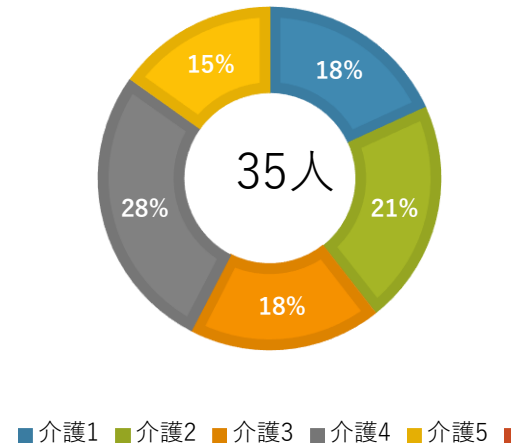
利用状況

(令和7年2月)

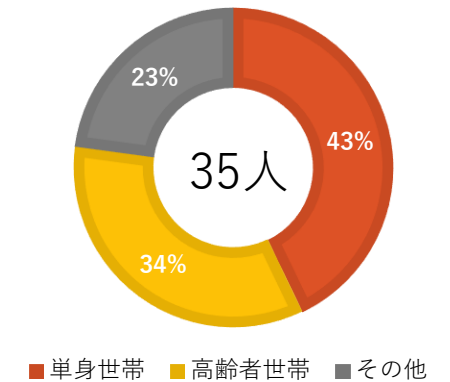
病名別



要介護度別



世帯状況別



笑生の定期巡回・随時対応訪問介護の特徴

☆毎日の訪問で、切れ目なく安心できるサービス

☆利用者の「できること」を増やす（減らさない）
自立をめざしたサービス

☆体調悪化時に柔軟に対応できるサービス



定期巡回・随時対応型訪問介護看護による看取り

事例紹介

利用者の状況

主疾患：肝膿瘍、心不全、小球性貧血（原因不明）、廃用症候群
○80代後半、女性 ○娘夫婦と同居 ○要介護5 ○ベッド上生活

ケア内容

【在宅看取り希望】 状態観察・排泄介助・食事介助・清潔ケア 他

【訪問看護特別指示書なし】

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|---------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 8:30 ～ 9:00 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 |
| 13:30 ～ 14:00 | 定期 巡回 介護 | 定期 巡回 介護 | 定期 巡回 介護 | 定期 巡回 介護 | 定期 巡回 介護 | 定期 巡回 介護 | 定期 巡回 介護 |
| 17:00 ～ 17:30 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 | 定期 巡回 看護 |

【訪問看護特別指示書あり】（最後の3日間）

| 8:30 ～ 9:00 | 看護 | 看護 | 看護 |
|---------------------|------------|------------|------------|
| 13:30 ～ 14:00 | 定期巡 回介護 | 定期巡 回介護 | 定期巡 回介護 |
| 17:00 ～ 17:30 | 看護 | 看護 | 看護 |
| 19:30 ～ 20:00 | 看護 | 看護 | 看護 |

状態悪化に伴い
眠前にも訪問し
状態観察を実施

1日3回限度の医療
保険を使用した
訪問でも
定期巡回の
組み合わせで
複数回の訪問が
可能

サービスの 実施状況

～経過～

病院にて、家族へ余命が短いことを伝えられており、本人から「病院はやだ」と最期を在宅で迎えたい希望が家族・本人ともにあり、訪問診療と定期巡回導入し退院。徐々に状態が低下し、医療保険（訪問看護）と介護保険（定期巡回）を組み合わせで支援。最後家族に見守られながらお亡くなりになる。

支援経過①

利用開始～1カ月

○ご家族が日中不在のため、食事や排せつの援助が必要

→定期巡回導入

○サービス利用1か月程度は体調安定

○基本的にベッド上での生活

○食事はベッド上セッティングで自力摂取可能

○おむつ時のローリングも可能、協力動作も多い

○コミュニケーションは可能

○内服などはご家族が対応可能

→ 定期巡回サービスにてご家族へ介護相談や指導

状態観察、おむつ交換、食事のセッティング

清潔ケアなどを実施(1日3回訪問)



支援経過②

1か月～1カ月半ごろ

○食事が徐々に摂れなくなる

○手の動きや反応等も緩慢になる → コミュニケーションは可能

○血圧の低下や尿量の減少がみられる

→ 訪問診療にて、貧血の進行があるが原因は不明

このまま自宅で看取る方向性を確認

苦痛軽減の支援を継続する方向

→ 定期巡回サービス内で看護師が訪問し状態観察を実施

食事介助(嚥下に注意しつつ可能な範囲で実施)、おむつ交換

清潔ケア、皮膚トラブル発生に注意しつつ、ケアを継続



支援経過③

状態変化時

- 食事や水分摂取が完全にできなくなる
- 閉眼している時間が長く、呼吸が長くゆっくりとしたものへ変化
- 手先が冷たくなり、血圧値などが低く、尿がでなくなる

→ 定期巡回サービスだけでなく、医療保険も組み合わせて
看護師訪問(状態観察)(特別訪問看護指示書) + 定期巡回(身体支援)にて
利用者様が最後まで心地よく過ごせるようなケアを実施

またご家族へ、今後の状態の変化についてもこまめに声をかけて
看取りへの不安や心配事がないかのサポートを実施



支援経過④

死亡前3日～看取り

○家族よりステーションへ連絡あり、家族に見守られながら死亡

→ 最後の3日間は夜間も訪問を導入したことで家族の不安軽減や状態の変化に気づきやすく、適宜ケアを導入することができた
また定期巡回と訪問看護(医療保険)を組み合わせることで最期まで可能な限りご本人の苦痛を軽減することができた

家族も含めて不安のない看取りが可能となった



定期巡回・随時対応サービスによる看取り

定期巡回・随時対応サービスは
看取りまでの支援を柔軟に行えるだけでなく
医療保険を組み合わせることで更に
質の高い医療が提供可能となり
介護と看護を組み合わせる
その人らしい最期を迎えることができる

「自宅での旅立ち」
「最期まで家で自分らしく生きる」
その方の意向にできる限り
寄り添うことができる



訪問看護ステーション